

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2021/10/26

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.06	-0.27
JPY/THB	0.2907	-0.0026
USD/JPY	113.71	0.21
EUR/THB	38.38	-0.40
EUR/USD	1.1608	-0.0035
USD/CNH	6.383	-0.001
SGD/THB	24.54	-0.17
AUD/THB	24.77	-0.10
USD/INR	75.09	0.19
USD Index	93.81	0.17

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.223	-0.019
10Y (THB)	1.979	-0.049
5Y (USD)	1.171	-0.025
10Y (USD)	1.631	-0.002

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,806.0	10.5
WTI (Oil)	83.76	0
Copper	9,867.5	163.5

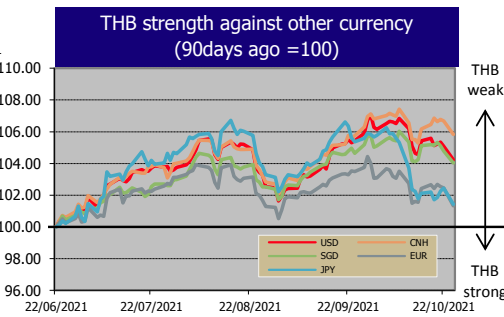
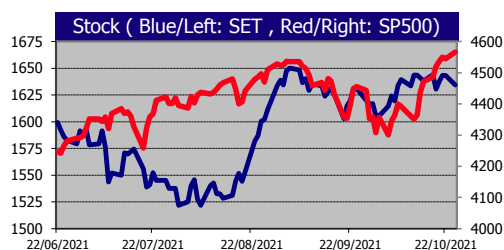
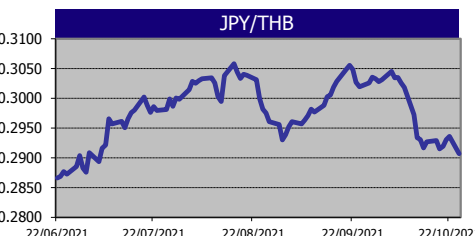
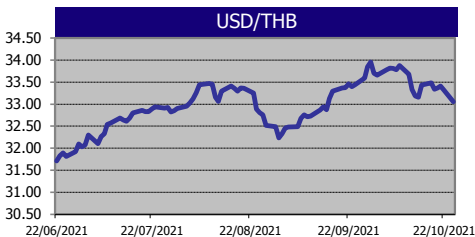
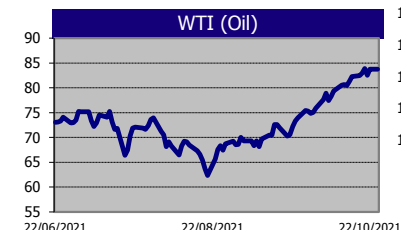
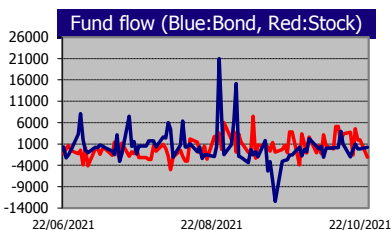
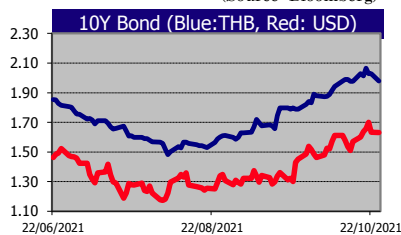
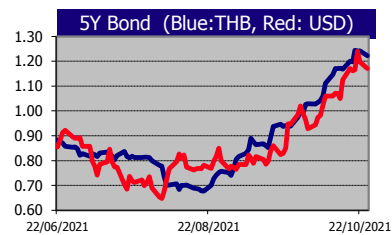
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,634.20	-9.22
NIKKEI (JP)	28,600.41	-204.44
DOW (US)	35,741.15	64.13
S&P500 (US)	4,566.48	21.58
SHCOMP (CN)	3,609.86	27.26
DAX(GER)	15,599.23	56.25

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,106)	-4081.3
Bond net flow	249	378.9

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。バンコク時間は33.30近辺でオープン。この日は先週金曜日22日の振替休日前の祝日に該当していたことから、休業日を変更しなかった企業も多く、実需のアクティビティは限定的となった。中国の大手不動産企業のデフォルト懸念が緩んだことからリスクセンチメントが改善し、ドルパーツは下落を辿る中、直近安値を攻める展開から33.05近辺まで下落した。

●ドル円その他

・昨日のドル円は横ばい推移。東京時間は113.65円近辺でオープン。序盤は米金利が上昇する場面で113.91円をつけるも、11月FOMC前のブラックアウト期間に入り、新規材料に欠ける中、113円台半ば付近まで下落しクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

インフレ懸念が強まっている中、先週は11月FOMC前のFRB高官の発言を確認する最後のタイミングでありましたが、パウエルFRB議長からも明確な懸念は示されなかったことから、11月のテーパリングアナウンスはほぼ確定的となった印象です。原油価格上昇は引き続き顕著であります。米長期金利上昇には一服感もあり、米10年金利は1.70%に到達した後は1.65%近辺まで緩んできました。また、中国不動産企業の動向についても、先週は中国恒大集団が遅延していた外債利払いの履行を実施したことから、リスクセンチメントも改善基調にあり、中国人民銀行(PBOC)の流動性供給も見られていることが、センチメントにプラス寄与している印象です。

ドルパーツ相場についても、上記材料に反応し、週明けのドルパーツは直近安値を攻める展開となり、オープン時の33.30近辺から33.05近辺まで下落しました。テクニカルチャートの10月11日にドルパーツの足足の一目均衡表がねじれの位置に到達したことから、下値を攻め安い展開となっており、実需フローが後退する海外時間には下値を試しやすい環境にあると感じます。次の下値目安は32.85近辺となり、戻りの重さが一段と確認できれば、下落トレンド入りする可能性もあり、ドルパーツは反発水準を確認しつつ、下値を探る展開を想定しておきたいところです。(橋)